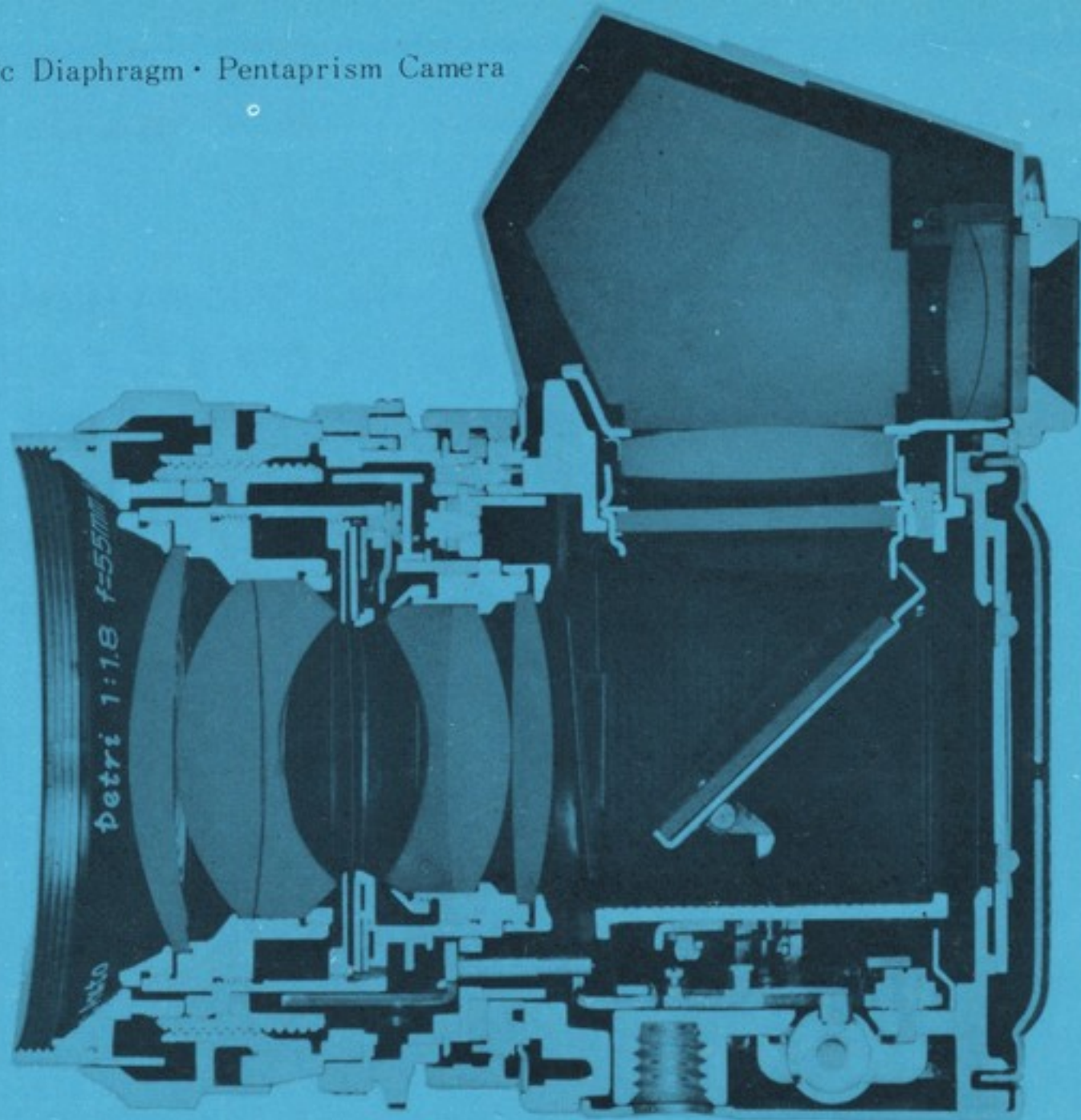




Good Design · Fully Automatic Diaphragm · Pentaprism Camera

PETRI V6

——— 使用説明書



お買上げありがとうございます

ペトリ V 6 は、一眼レフに長い伝統を誇る、ペトリが〈高級一眼レフを広くみなさまにご愛用いただきたい〉、という願いから、高度な技術と合理化された生産システムを集大成した35ミリ一眼レフの決定版といえるカメラです。

本機は使いやすさを主眼として設計されています。フィルム装てんを容易にしたシンプルロード機構をはじめ人間工学の成果を随所に生かし、手に馴染みやすく各操作部もスムーズに扱えます。

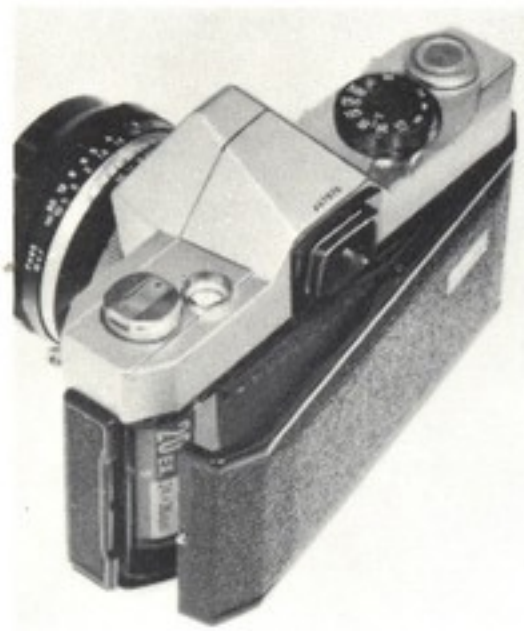
この説明書をよくお読みになり、いつまでもあなたの愛機としてご活用くださいますよう、心からお願い申し上げます。

おもな性能

型 式	フォーカルプレ式35ミリ一眼レフ
使用フィルム	パトローネ入り35ミリフィルム、20枚撮り、36枚撮り
画面サイズ	24×36ミリ 35ミリフルサイズ
レ ン ズ	ペトリ55ミリ F1.8 ペトリ55ミリ F1.4 完全自動絞り コンビネーションコーティング
レンズ交換 シャッター	バヨネット式ペトリマウント 布幕フォーカルプレ B ・ $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{500}$ 秒等間隔目盛
シンク ロ	1軸不回転ダイヤル ボダイリリース斜めボタン FP・X自動切替 JIS B型プラグ

ファインダー	固定式ペンタプリズム 0.9× マイクロイメージ フレネルレンズ・コンデンサー併用
ピント調節 ミ ラ ー	直進ヘリコイド式 クイックリターンミラー
フィルム装てん フィルム巻上げ	シンプルロード・システム レバー式 1作動巻上げ 準備角12° 巻上角180° セルフコッキング 二重巻上げ防止 二重露出防止
フィルム巻戻し 露 出 計	クランク式 連動露出計ガイドピン有
セルフタイマー 裏ぶた開閉	レバー式 5~9秒 蝶番式
寸 法・重 量	140×95×88.5ミリ 860グラム (F1.8レンズ付)

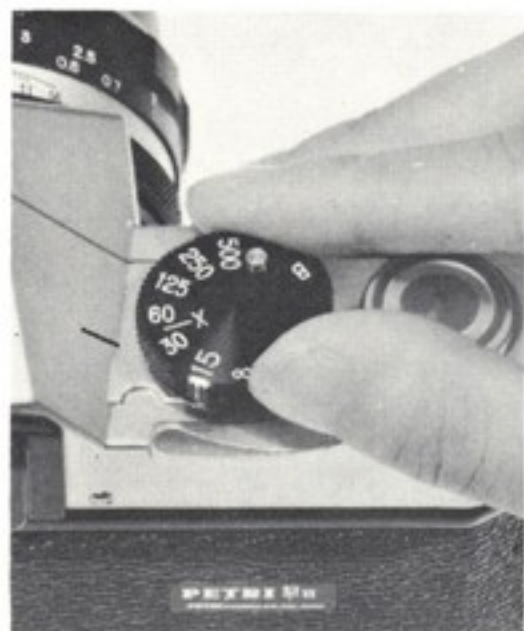
撮影はかんたんです



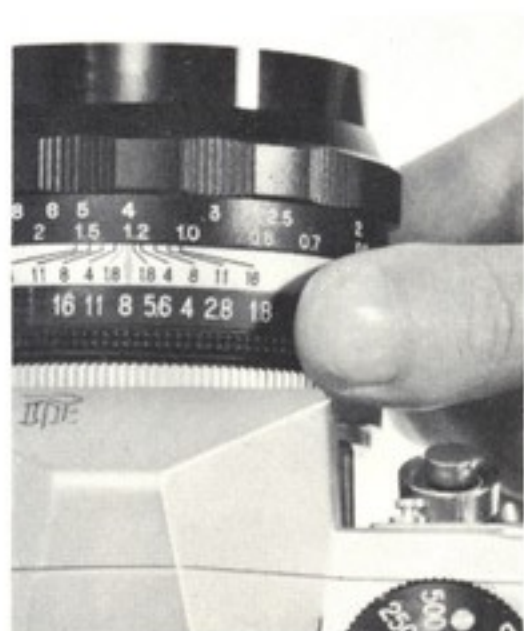
1 フィルムを入れます



2 フィルムを巻上げます。



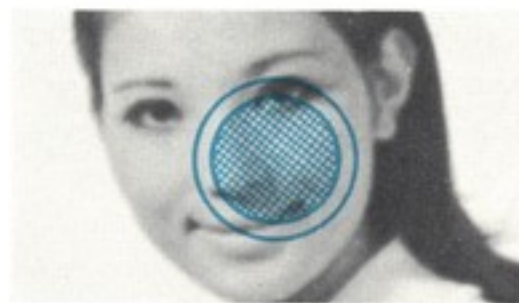
3 シャッター速度と



4 絞りを適正露出に合わせます。



5 カメラをしっかり構え、構図を決めます



6 ピントを合せます



7 レリーズボタンを静かに押します。



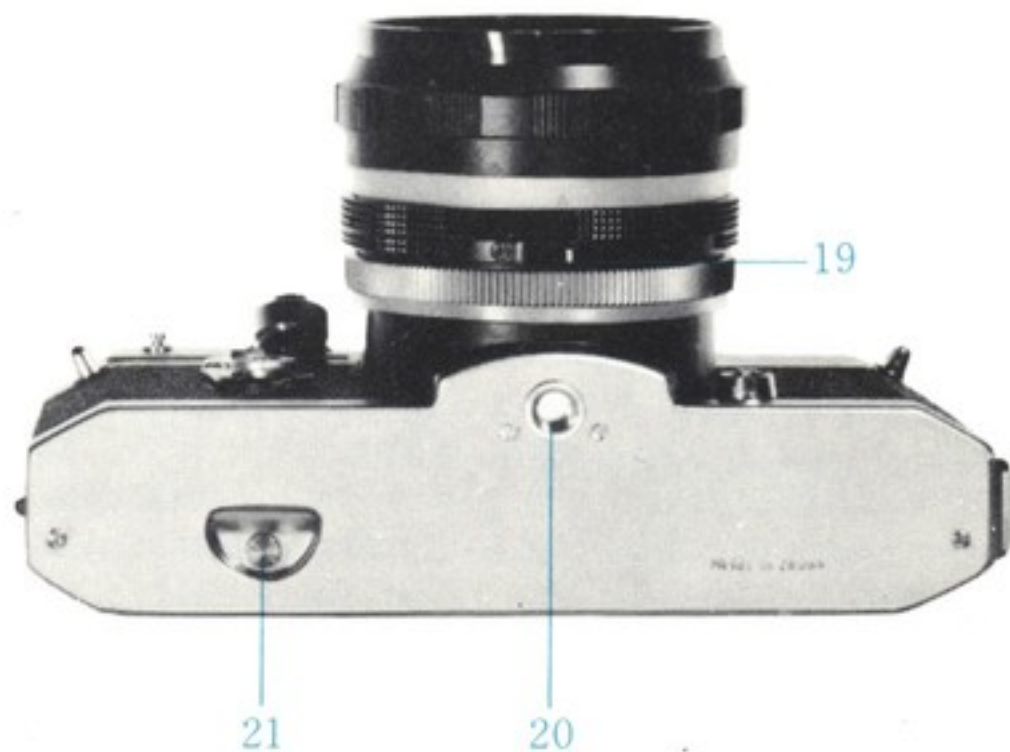
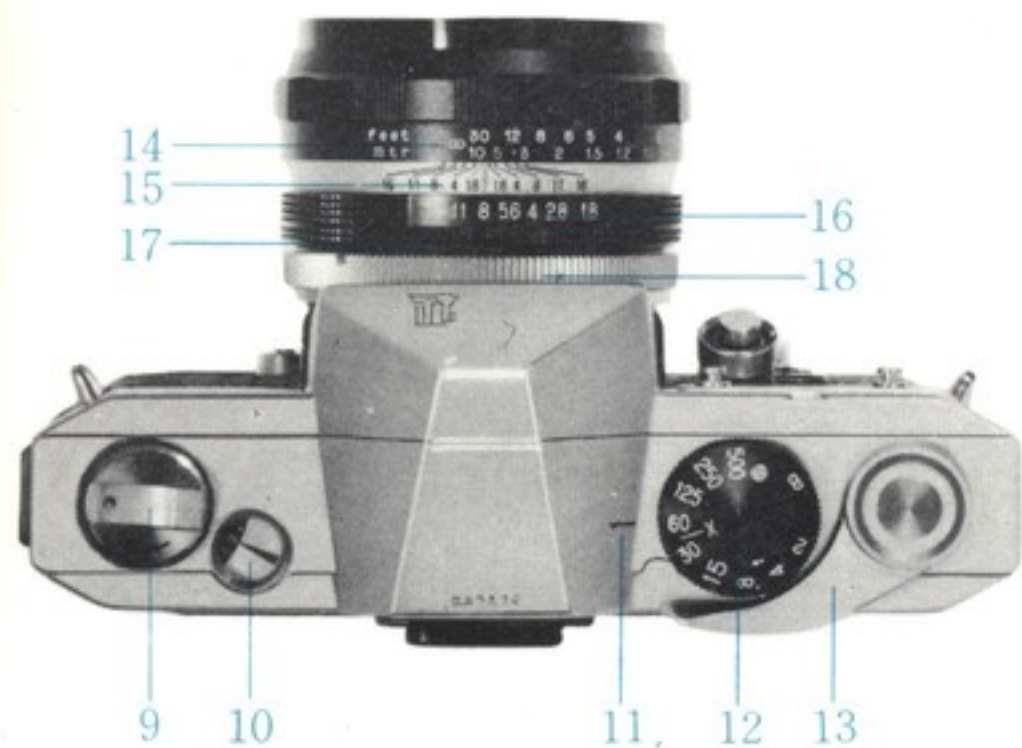
8 それだけで美しい写真が写せます。

各部の名称

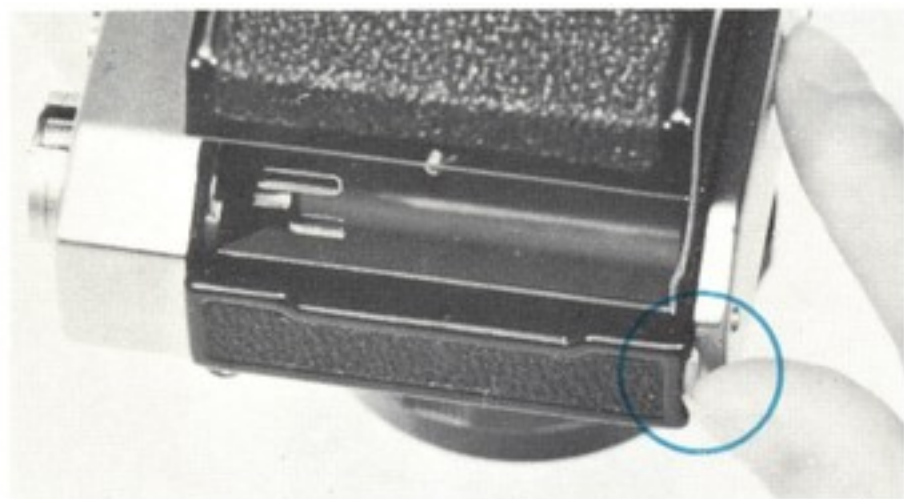
①吊環 ②メーター取付ピン ③レリーズボタン ④セルフタイマーボタン ⑤セルフタイマーレバー ⑥ペトリ55ミリF1.8 ⑦シンクロターミナル ⑧裏ぶた開閉レバー



- ⑨フィルム巻戻しクランク ⑩フィルム枚数計 ⑪シャッター目盛指針 ⑫シャッター速度ダイヤル ⑬フィルム巻上げレバー ⑭距離目盛 ⑮被写界深度目盛 ⑯絞り目盛 ⑰A→M切換リング ⑱レンズ着脱リング ⑲A→M切換レバー ⑳三脚穴 ㉑フィルム巻戻しボタン

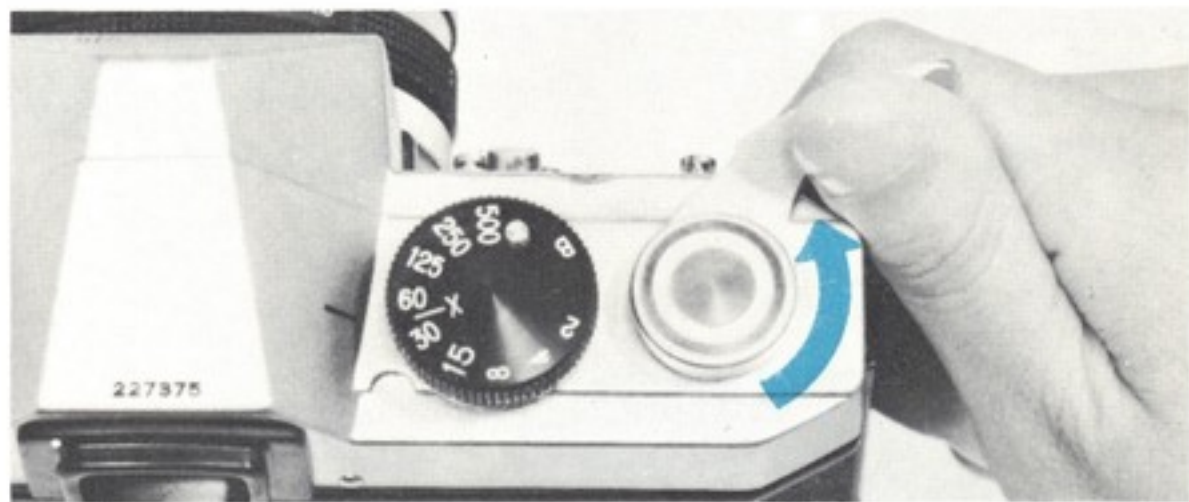


各部の扱い方



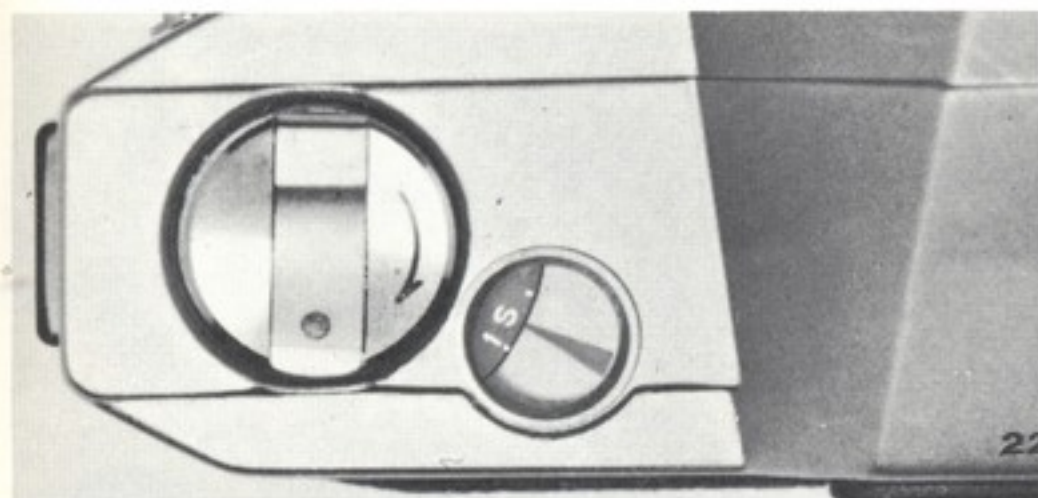
裏ぶたのあけ方

ボディ側面の下部にある裏ぶた開閉レバーを、カメラ底部側に引くと、裏ぶたは自然にひらきます。閉じるときは、裏ぶたを押せばパチンと音がして閉じます。



フィルム巻上げレバー

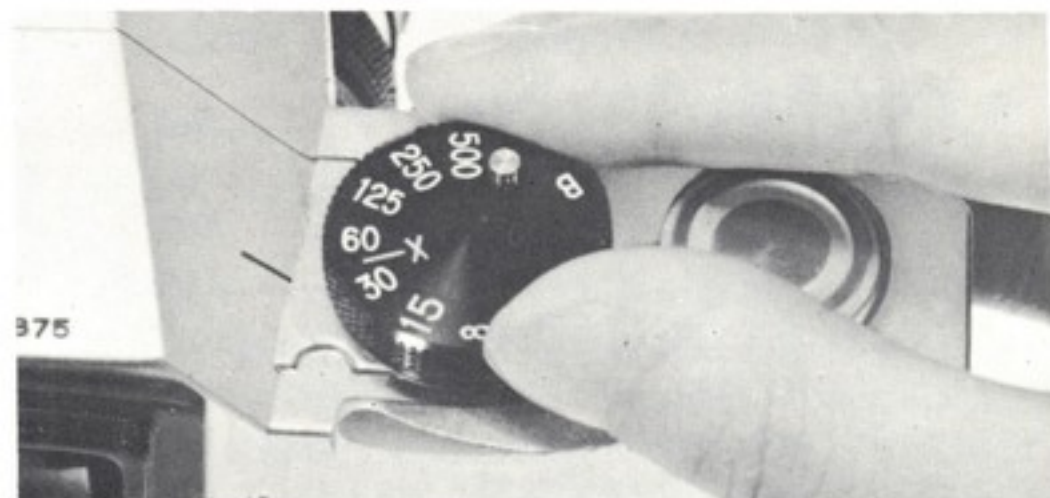
1. フィルム巻上げレバーに親指を掛け、止まるまで回すと(180°)フィルムが1コマ巻上げられ、同時にシャッターがセットされます。
2. 巻上げレバーは指を離せば元に戻りますが、ボディとの間にいくらかスキマができます。これは準備角といい、次の巻上げをしやすくするために、必要のないときは指で押しこめば、完全に納まります。
3. レリーズボタンを静かに押します。シャッターが切れて再び巻上げができます。



フィルム枚数計

フィルム枚数計は、0、S（スタート）、1、3、5と奇数が刻まれ、中間の白線が偶数枚数になっています。この枚数計は、シャッターを切り終った瞬間に1コマ進みますので、指標に合致している数字は、撮影が終った枚数を表わします。

裏ふたをあけると、フィルム枚数計は自動的に0に戻ります。



シャッターダイヤル

シャッターダイヤル上の数字は、シャッター速度を示します。2は $\frac{1}{2}$ 秒、500は $\frac{1}{500}$ 秒の意味です。Bはバルブ露出のことで、リリースボタンを押しているあいだ中、シャッターが開き、放すと閉じます。シャッター速度の調節は、ダイヤルを右または左に回し、ダイヤルの横の黒線の指標に、必要な速度を合わせます。

- シャッター目盛はクリックストップになっており、中間速度は使えません。

レンズの交換

ペトリV6のレンズ交換は、バヨネット式になっており、着脱は簡単に確実にこなせます。

カメラ側にあるレンズ着脱リングをカメラに向かって時計の針と反対方向に約40度、赤い切りこみが真上にくるまで回すと、レンズはずれます。

取りつける場合はこの逆、レンズのバヨネットについている赤ポチを真上に、着脱リングの赤い指標も真上に、つまり、着脱リングの内部についている赤い円にそれぞれの赤を合せて差しこみ、着脱リングを時計方向に回して締めつけます。

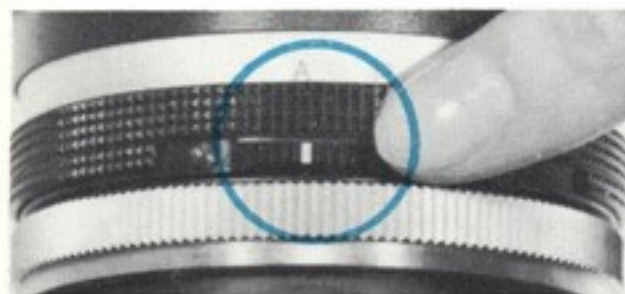
交換レンズもまったく同じ操作で装着できますが、ペトリ専用交換レンズ以外のネジ込式の交換レンズをご使用の際は、アダプターリングをレンズにねじ込みバヨネットとした上でお使いください。



絞り効果の確認

本機のレンズは完全自動絞りで、シャッターが開いている間だけ（撮影のときだけ）セットした絞りに絞られ、あとは開放になっています。ですから、ファインダーは常に明るく、構図やピント調節が楽にできます。

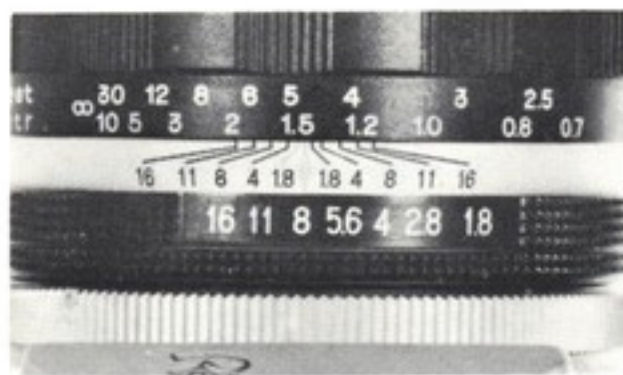
セットした絞りで、ピントの合う範囲を見たいときは、レンズ部のA→M切換レバーをM方向に切換ると手動絞りになりピントの合う範囲や、バックのボケ具合が確認できます。



深度目盛

F1.8レンズの場合、レンズ鏡胴部の赤い距離指標◆の左右対称に、1.8、4、8、11、16の数字（Fナンバー）と線が刻まれています。これがピントの合う範囲を示した深度目盛です。

見方は、距離を合わせたら、セットした絞り値と同じ数字の深度目盛をみます。そこから距離目盛に向ってのびた左右の線の範囲内が被写界深度です。

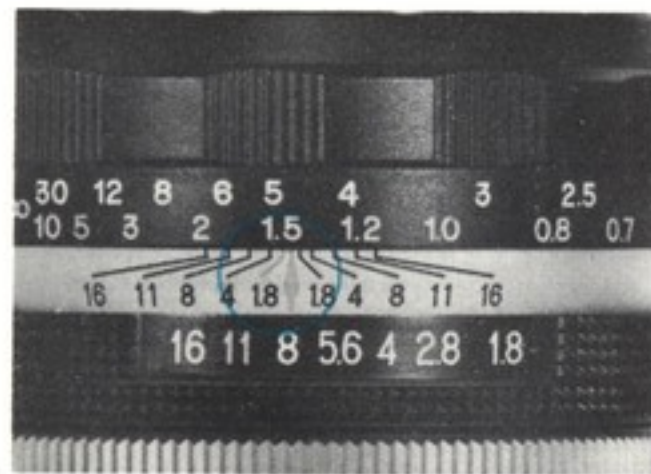


F1.4&F1.8レンズ被写界深度表

FNO. meter	1.4	1.8	2.8	4	5.6	8	11	16
0.6	0.59 0.61	0.593 0.607	0.589 0.611	0.585 0.615	0.579 0.622	0.572 0.630	0.561 0.644	0.544 0.668
0.7	0.69 0.71	0.691 0.710	0.685 0.715	0.679 0.722	0.671 0.731	0.659 0.745	0.647 0.762	0.623 0.792
0.8	0.79 0.81	0.788 0.813	0.780 0.820	0.772 0.829	0.762 0.841	0.747 0.860	0.730 0.883	0.701 0.931
1.0	0.99 1.02	0.980 1.021	0.969 1.032	0.957 1.064	0.941 1.066	0.917 1.098	0.892 1.136	0.848 1.248
1.2	1.81 1.22	1.172 1.230	1.156 1.247	1.138 1.268	1.115 1.298	1.082 1.346	1.047 1.404	0.986 1.532
1.5	1.47 1.53	1.455 1.548	1.431 1.575	1.403 1.610	1.368 1.658	1.319 1.737	1.267 1.836	1.177 2.065
2.0	1.94 0.06	1.920 2.087	1.879 2.137	1.831 2.203	1.771 2.296	1.688 2.451	1.603 2.655	1.461 3.167
3.0	2.87 3.15	2.823 3.201	2.733 3.325	2.632 3.486	2.600 3.728	2.345 4.611	2.183 4.792	1.925 6.790
5.0	4.64 5.42	4.524 5.589	4.295 5.980	4.050 6.529	3.765 7.440	3.404 9.408	3.071 13.437	2.581 79.491
10.0	8.62 11.85	8.252 12.689	7.519 14.920	6.797 18.910	6.025 29.377	5.148 ∞	4.419 ∞	3.466 ∞
∞	63.63 ∞	47.192 ∞	30.321 ∞	21.222 ∞	15.160 ∞	10.611 ∞	7.918 ∞	5.305 ∞

赤外線指標

赤い距離指標◆の左の赤線(1.8)は赤外線指標です。F1.8レンズの場合、赤外線フィルムを使用するときは一度ピントを合わせてからその距離目盛を赤外線指標までずらして撮影してください。なお、赤外線フィルム撮影には、赤フィルターをご使用ください。



絞り目盛

標準レンズのFナンバーは(1.4) 1.8、2.8、4、5.6、8、11、16の7段階あり、それぞれ、クリックストップになっていますが、中間絞り、(例えば8と11の中間位置)も使えます。このFナンバーが大きくなるほど、絞りは小さくなります。絞りをセットするには、絞りリングを回して目的のFナンバーを赤い指標◆(距離指標共通)に合わせます。

- 自動絞りと手動絞りの切換えはF1.4レンズ、F1.8レンズ共レンズ下部のA→M切換レバーによって行ないます。通常はレバーに刻まれた白線をA(自動絞り)側に合わせておきます。そうしないと、自動絞りが作動しません。

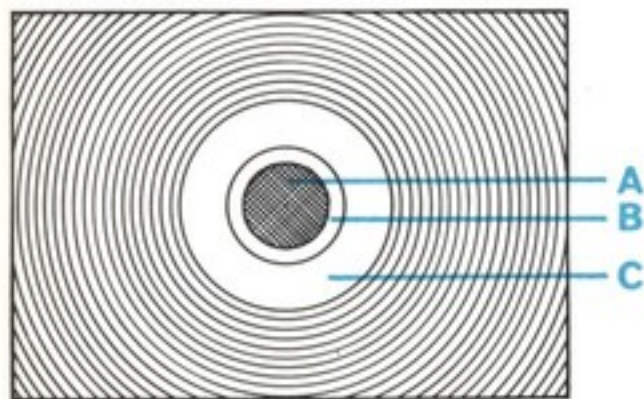
- 絞り効果の確認や、レンズとカメラの間に、接写リング、ベローズなどを装着した場合は、手動絞り(M方向)で行います。



ピントの合わせ方

本機のファインダーは、マイクロイメージ、フレネルレンズ、コンデンサーを併用したもので、中心からマイクロイメージ(図A部)透明部B、被写界深度確認C、更に外側はフレネルレンズの4部からなっています。

ピント合わせは中心部Aで行ないます。このマイクロイメージは500コに及ぶ極小のレンズ群で構成されています。ファインダーをのぞきながら、フォーカスリングを



右か左に回すと、マイクロイメージがいちばんシャープな像を結ぶ位置があります。それがピントの正しく合った位置です。このマイクロイメージは、ピントが少しでもズレていると像がくずれてチラチラしますので、容易にピント合わせができます。

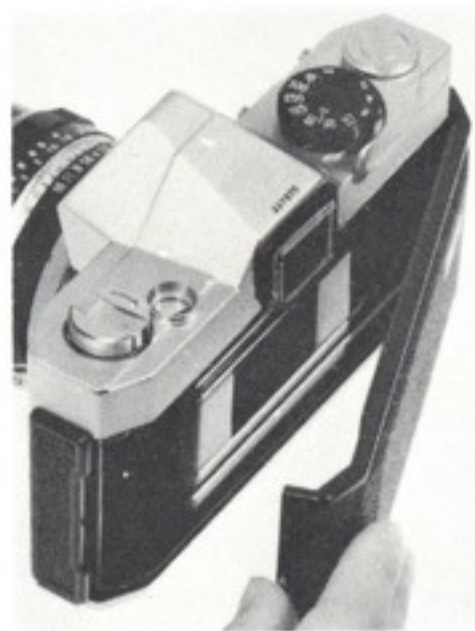
透明部Bは、常に鮮鋭な像を結んでおり、いわば、ピント合わせのお手本の部分です。

被写体までの距離を知りたいときは、赤い距離指標◆と合致した数字を読みとります。草色がメートル表示、白色の数字がフィート目盛です。

フィルムの入れ方

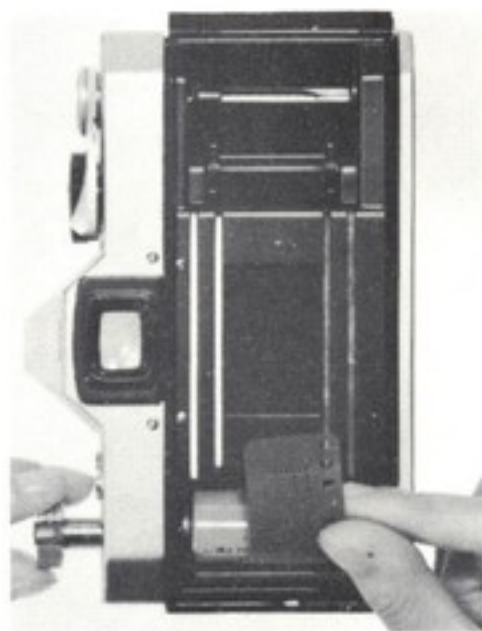
新形式のシンプルロード・システムを採用、と
かく失敗しがちなフィルム装てんを簡単、確実な
ものにしてあります。フィルム巻取軸に刻まれた4
ヶ所の溝がそれ、そのど
れにでもフィルムの先端
を差しこむだけでいいの
です。

- フィルムはパトローネ入りの35ミリ、20枚撮りか36枚撮りをお使いください。
- フィルムの出し入れは直射日光をさけてください。

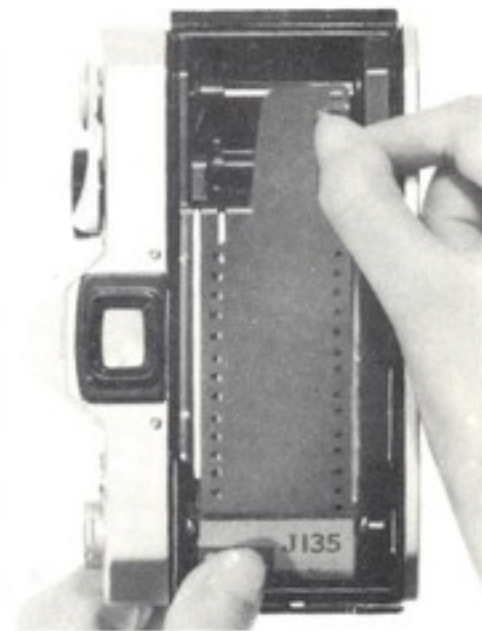


1. 裏ふたを開きます。
(8頁参照)

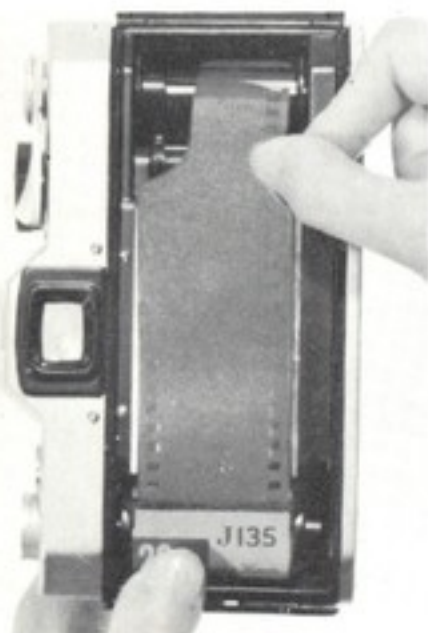
フィルム枚数計の目盛位置
裏ふたをしめたとき(O)
装てんを終わったとき(S)
撮影はもう一回巻上げてから



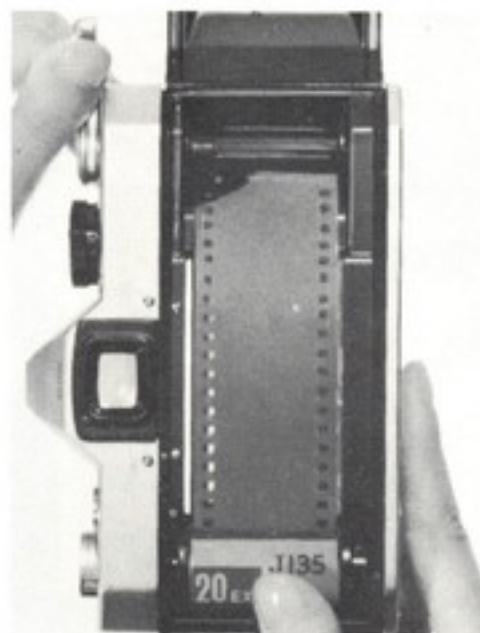
2. 巻戻しクランクを止るまで引出し、フィルム室にフィルムを入れ、巻戻しクランクを元に戻します。元の位置に戻らないときは、左右に少し回しながら押込むと完全に入ります。



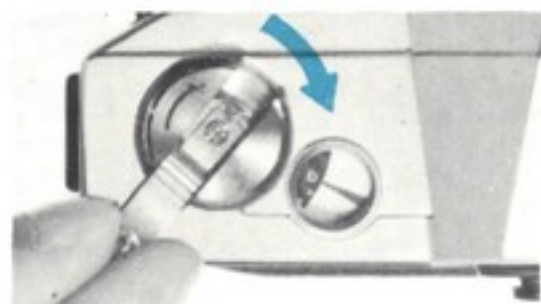
3. 左手で軽くパトローネをおさえながら、フィルムの先端を巻取軸に刻まれた4ヶ所の溝のどれにも差します。



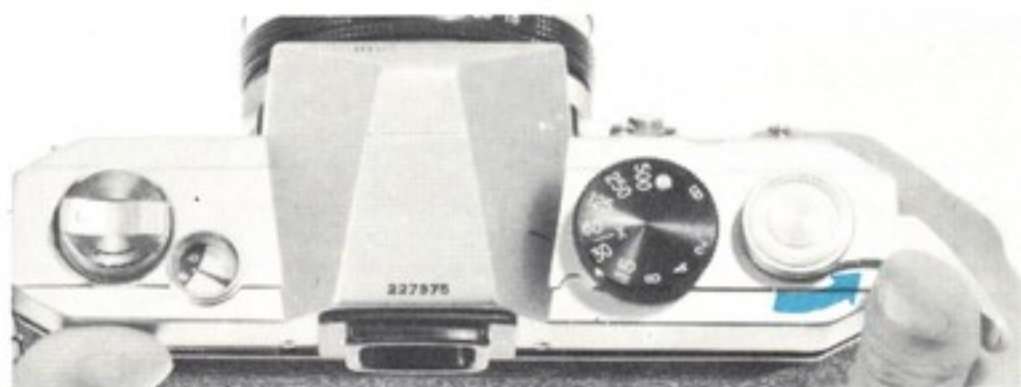
4. 巻取軸に差しこんだフィルムをカメラ底部側に引き、溝のいちばん狭い部分の根元まで入れます。



5. 巻上げレバーでフィルムを巻上げ、パーフォレーションが両側ともスプロケットの歯車にしっかり噛み合うようにします。



6. 裏ぶたを閉じ、念のため巻戻しクランクを起し、クランクが重く感じるまで軽く回して、フィルムのタルミをとります。



7. 巻上げレバーを巻上げてシャッターを切る操作を空写しとありますが、これをフィルム枚数計がSを指すまでくり返します。(2回)、次にもう一度巻上げれば1枚目の撮影ができます。この空写しの途中で、巻戻しクランクが巻上げにつれて矢印と反対方向に回ってれば、フィルムは正しく送られています。

露出の決定

撮影は常に適正露出で行なわねばなりません。それには露出計が使われるのが賢明であり、本機もCdS専用露出計が用意されています。

露出は使用フィルム、季節、天候、時間、被写体の条件によって異なり、更に、撮影意図からさまざまな絞りとシャッター速度の組み合わせができますが、参考までに簡単な露出表を付記しておきますのでご利用ください。カラーは厳密な露出が要求されますが、モノクロームならだいたい正しい露出

が得られます。

また、距離目盛の5メートル、絞り目盛の11、いずれも赤色の部分を合わせると、過焦点距離といい3メートルから13メートルまでピントが合い、スナップなどに便利です。露出の調節はシャッター速度によります。



露出表

ASA 100のフィルム使用

季節	被写体	広い海・山 風景	広い風景	人物 陰の多い風景	日蔭の人物	明るい室内 窓際の人
春	3. 4. 5	F 8 $\frac{1}{500}$	F 8 $\frac{1}{250}$	F 8 $\frac{1}{125}$	F 5.6 $\frac{1}{60}$	F 1.8 $\frac{1}{30}$
夏	6. 7. 8.	F 11 $\frac{1}{500}$	F 8 $\frac{1}{500}$	F 8 $\frac{1}{250}$	F 5.6 $\frac{1}{125}$	F 2.8 $\frac{1}{30}$
秋	9. 10. 11	F 8 $\frac{1}{500}$	F 8 $\frac{1}{250}$	F 8 $\frac{1}{125}$	F 5.6 $\frac{1}{60}$	F 1.8 $\frac{1}{30}$
冬	12. 1. 2	F 8 $\frac{1}{250}$	F 8 $\frac{1}{125}$	F 5.6 $\frac{1}{125}$	F 4 $\frac{1}{60}$	F 1.8 $\frac{1}{15}$

撮影時間・午前9時～午後3時 ただし冬のみ午前10時～午後2時の露出表です。

朝と夕方・露出を2～3倍に増加します。

薄曇・2倍 曇天・4倍に露出を増加します。

ASA 50のフィルムは2倍、ASA 200は $\frac{1}{2}$ 倍、ASA 400は $\frac{1}{4}$ 倍にしてください。

露出を2倍にするには絞を一目盛開くか、シャッター速度を一目盛おそくします。

専用露出計の使い方



ペトリV6には、CdSタイプの専用露出計が用意されています。

シャッターダイヤル上のメーターガイドピンと連結するように取りつけ、希望のシャッター速度に合わせ、指針（赤い針）に対応する絞り目盛を読み、カメラの絞りを同じF値に絞ります。

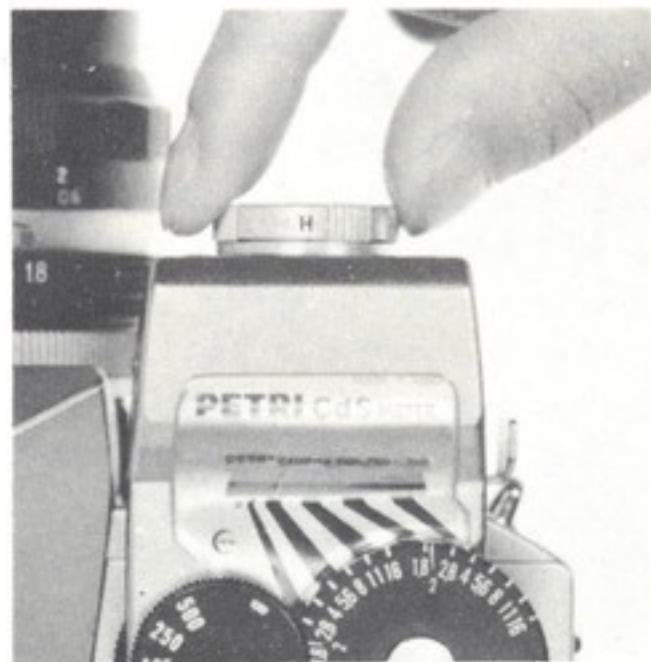
このメーターは、高低照度二段切替式で、絞り目盛は感度切替リングがHのときは白、Lのときは黄色のF値を読みます。Hは明るい被写体を測るときに用い、Lは室内など暗い被写体に使います。



1. メーター側面の取付けレバーを押しながら、取付け金具をカメラの取付けピンに差しこみ手を離せば固定します。メーターのシャッターダイヤルを左右に回すと、メーター底部のカップラーがカメラのダイヤル上のピンと結合し、メーターとカメラのダイヤルが連動します。



2. 絞りダイヤル上のピンに爪をかけて回し、ASA (DIN) 感度目盛を使用フィルムの感度に合わせます。



3. 明るい被写体なら感度切替リングをHに、暗い被写体ならLに合わせ（撮影時以外はOFF）、シャッターダイヤルを回し、希望の速度にセットし、メーター受光部を被写体に向け、メーター指針を読みとります。

カメラの構え方

美しい写真を撮るには、カメラをしっかり構え、ブレのないように気をつけます。ピントの悪い写真の大半がカメラブレです。慣れるまでくり返し練習してください。

レリーズボタンを押すときは、一瞬、息をとめるようにし、静かに押します。そして指先で押すのではなく、親指と人さし指の腹でボディを両側から押さえるように切れば、カメラブレの心配はありません。なお、 $\frac{1}{50}$ 秒以下のスローシャッターでは三脚をご使用ください。

カメラの保持は、横に持つ場合でもタテの場合でも、カメラの背部はなるべく頬や額に当てるようにすれば動揺が防げます。また両手のヒジは体につけ、立っている場合は両脚を開いて身体の安定をよくするのも良いことです。



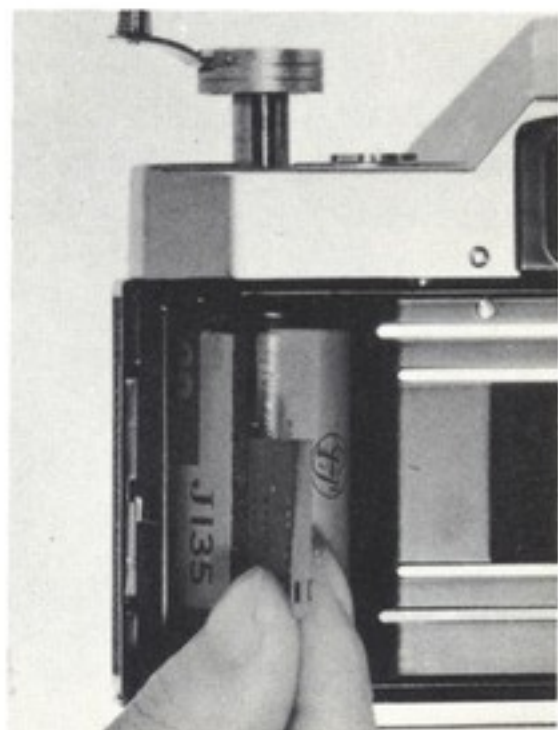
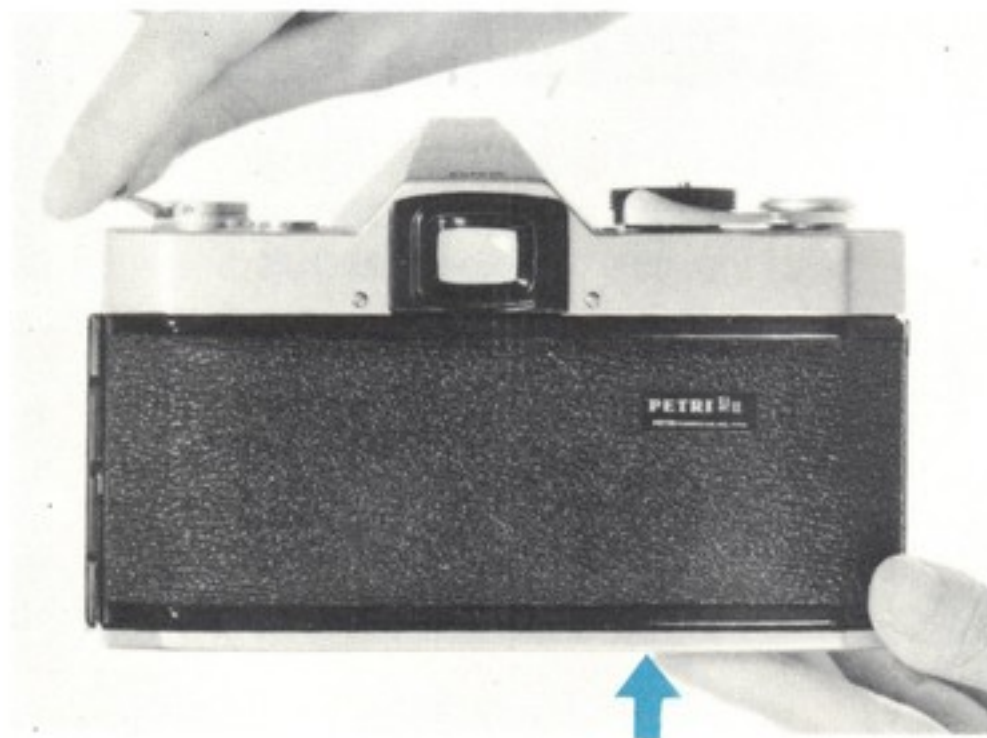
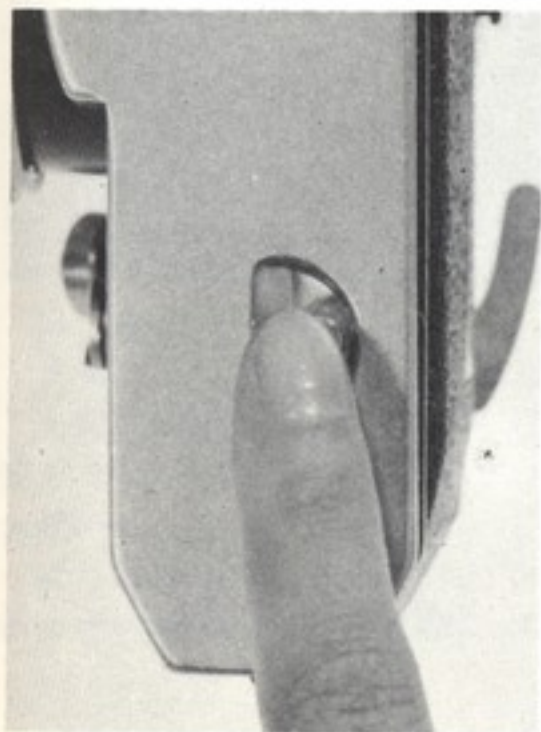
フィルムの巻戻し

撮影が終わったら、フィルムを巻戻します。撮影が終わったかどうかは、フィルム枚数計が20（20枚撮りフィルム）または36（36枚撮り）を指すか、巻上げレバーが作動しなくなるのでわかります。

巻戻しは、カメラ底部のリターンボタンを押したまま、フィルム巻戻しクランクを起し、クランクの矢印の方向に回します。フィルムを巻戻している間は、クランクが重く感じますが、フィルムが巻

取られ、巻取軸からフィルムの先端が外れると急に軽くなり、完全に巻戻されたと判断できます。

- 巻戻したフィルムは、直射日光を避けて取出してください。

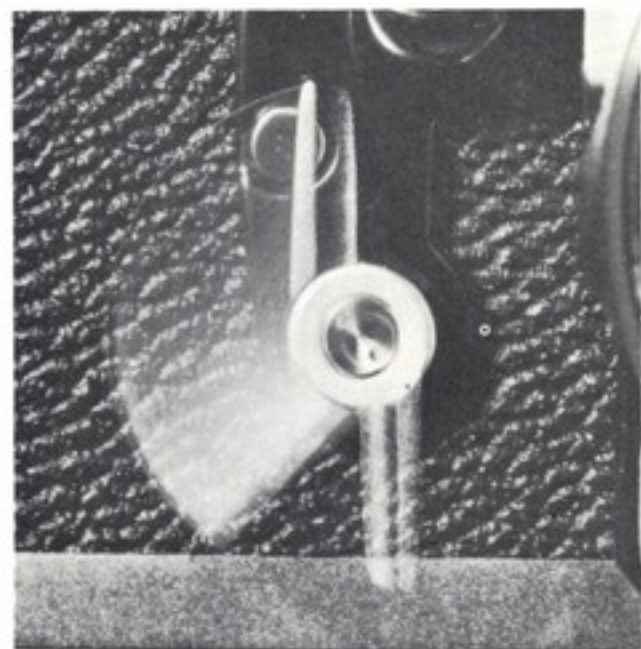


セルフタイマー

セルフタイマーをかけるには、セルフタイマーレバーを真下に、180度押し下げ、セルフタイマーボタンを押すと約9秒後にシャッターが切れます。

- フィルムを必らず巻上げてください。巻上げられていないと、シャッターは作動しません。
- セルフタイマーのセットは、フィルム巻上げの前後いずれでも構いません。
- このセルフタイマーは、1ストローク9秒になっていますが、中間位置も使用できます。ただしレバーの角度が60度以内ですとシャッターが落ちません。それ以上の角度でお使いください。90度にセットすると約4秒後に作動します。
- シャッター速度は、B以外の全速度が使用できます。またセル

フタイマーをセットしたまま、通常のレリーズボタンによる撮影もできますが、好ましくありません。



フラッシュ撮影

夜間や室内で明るくきれいに写すには、フラッシュが必要です。

ファインダー接眼部の両側面の溝に、専用アクセサリシューを差込み、その上にフラッシュガンを取付け、フラッシュコードの先端をシンクローターミナルに接続すれば、撮影が直ちに行なえます。

シャッター速度は、使用する閃光電球の種類によって、次の範囲で決めます。

FP級 $\frac{1}{60}$ ～ $\frac{1}{500}$ 秒

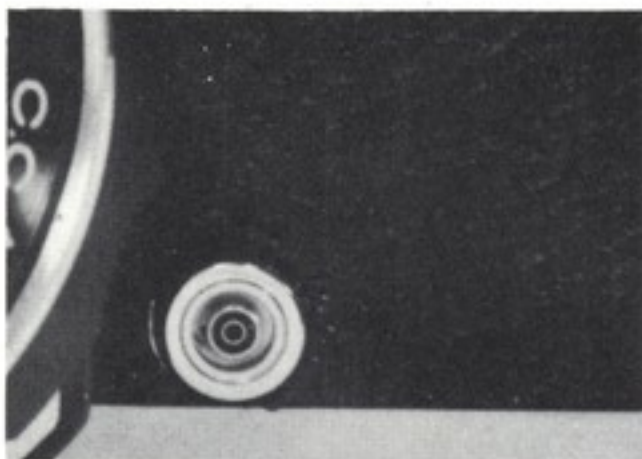
F 級 B. $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{1}{30}$ 秒

M 級 B. $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{1}{5}$ 秒

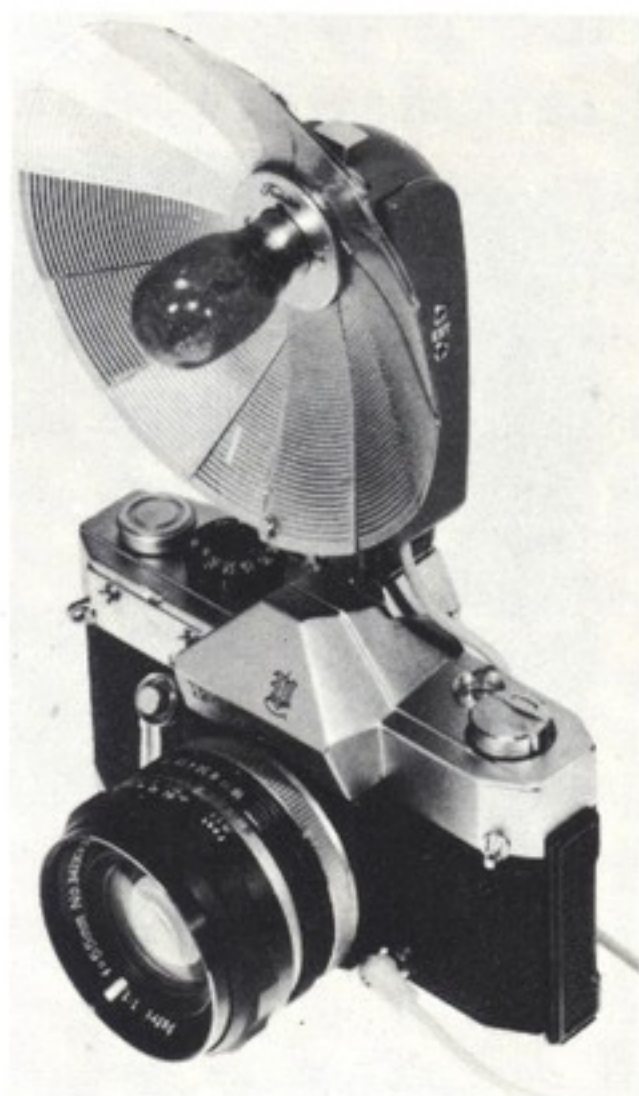
ストロボ X、B、 $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{1}{30}$ 秒

上記以外のスピードですと、性質上フラッシュは同調しないのでお使いにならないように。

絞りの決定は、カメラから被写体までの距離、閃光電球、ストロ



ボの種類によって違いますので、ご使用の閃光電球の外箱についている露出表でお決めください。



専用交換レンズ群

一眼レフは、ファインダーで見たままが写るといふことのほかに、交換レンズが自由に駆使できることが、大きな魅力となっています。

本機は、広角28ミリから超望遠1000ミリまで、それにズームなど豊富な交換レンズ群が用意されています。

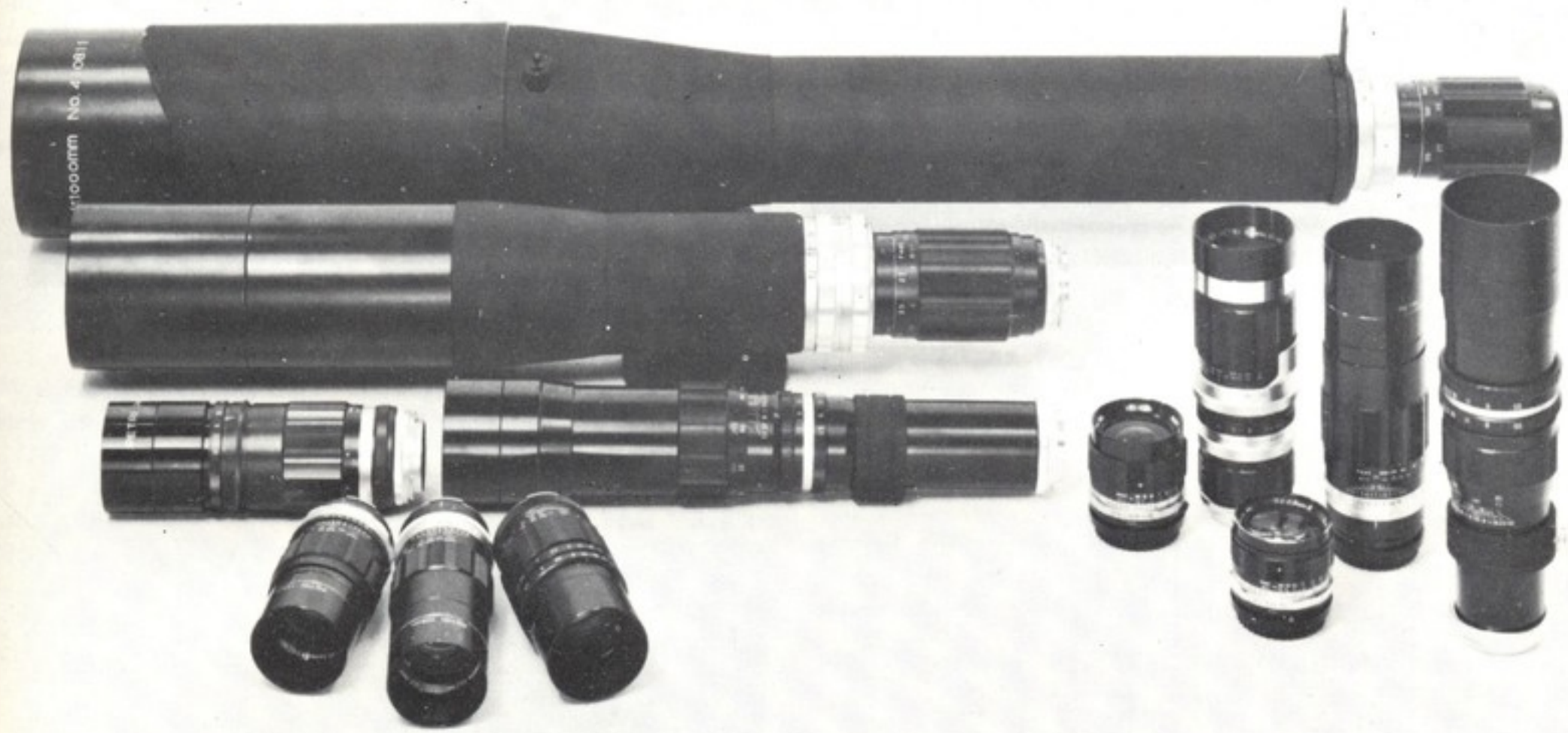
交換レンズは単に被写体を大きくしたり、広く写したりするだけのものではありません。各レンズの持ち味を生かし、また、パースペクティブを作画の中に持ちこん



だり、一眼レフに無限の可能性を与えています。あなたも標準レン



ズを使いこなしたら、交換レンズの世界へ足を踏み入れませんか



専用交換レンズ価格

28 mm



F3.5 ¥17,000 ケース¥1,000
7群7枚構成 完全自動絞
り 画角75°23' 230g

35 mm



F2.8 ¥17,500 ケース¥1,000
5群6枚構成 完全自動絞
り 画角63°26' 230g

135 mm



F3.8 ¥10,000
フード¥1,000 ケース¥1,800
3群3枚構成 完全自動絞
り 画角18°12' 350g

F3.5 ¥14,000
フード¥1,000 ケース¥1,500
3群4枚構成 完全自動絞
り 画角18°12' 415g

200 mm



F4 ¥18,400
フード¥800 ケース¥1,800
4群5枚構成 完全自動絞
り 画角12°21' 480g

300 mm



F5.5 ¥21,000

フード¥1,500 ケース¥2,300
2群4枚構成 プリセット
絞り 画角8°15' 700g

300mmF5オート ¥29,000

ケース¥3,500 フード¥1,500
3群5枚構成 完全自動絞
り 画角8°15' 重量850g

400 mm



F6.3 ¥24,000

フード¥1,800 ケース¥2,600
3群3枚構成 プリセット
絞り 画角6°15' 1700g



500 mm



F5.6 ¥51,000

フード¥3,000 ケース¥4,400
3群3枚構成 プリセット
絞り 画角4°57' 3000g

ZOOM

80↔200mmF4.5 ¥52,000

フード¥1,200 ケース¥3,800
9枚11枚構成 完全自動絞
り 画角30°16' ~12°21'

1000 mm



F8 ¥149,000

フード¥3,600 ケース¥5,400
3群3枚構成 マニュアル
絞り 画角2°28' 8000g

85↔210mmF4.8 ¥32,500

セットバッグ ¥2,500
8群13枚構成 完全自動絞
り 画角28°34' ~11°46'

専用アクセサリ



フィルター

ネジ込式金属枠付（ネジ径52mm）
整色用、強調用として作画上、大きな効果を生みます。

UV & カラー 各 ¥1,200
黑白用 各 ¥1,000
F1.4レンズ用54mm
UV & カラー 各 ¥1,400
黑白用 各 ¥1,200



フード

丸型、止ネジ式。内面反射が完全に防止され、あらゆる有害な乱反射を防ぎますので、常用をおすすめします。

カブセ式54mm
¥900（ケース付）
F1.4レンズ用
57mm ¥1,000（ケース付）



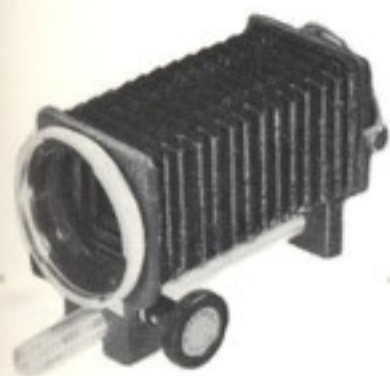
連動CdS露出計

露光指数ASA 6~3200
DIN 9~36 測光範囲
（ASA 100のとき）EV 2
~18 高低照度切替式
¥3,800 ケース ¥800



接写リング

カメラとレンズの間に装着し、小物体の接写や文献の複写に用います。
1・2・3号、マウントリング、アダプターリング共 **1セット ¥2,000**



ベロスコープ

蛇腹の伸縮で接写をするので、実物より大きく写せます。¥4,000



アングル ファインダー

三脚にカメラをセットしたときなど、これによってピント合わせが楽にできます。

¥ 3,400 (ケース付)



一眼レフ用 セットバッグ

カメラと交換レンズ、アクセサリーなどが格納できる豪華な本革製ケース
¥ 2,500



アクセサリーシュー

¥ 500

マウントリング ¥ 700

アダプターリング ¥ 300

アイカップ

近視用強弱、遠視用 ¥ 800

正常用 ¥ 500

カメラとレンズの手入れ

- カメラには、ホコリと湿気が大敵です。カメラはやわらかい布で拭き、カメラ内部はブローブラシか腰の弱いハケでホコリを除去します。レンズはブローでチリを払ってから、シリコンクロスなどでていねいに拭きとります。砂などがついたまま拭くと、レンズにキズが入ってしまいます。
- 写さないで長く保管する場合は、ケースから出し、乾燥した空気の流通のよいところにしまいます。
- レンズやミラーに指紋をつけないでください。つ

いたらすぐシリコンクロスで拭きとります。

- 保管する場合は、シャッターやセルフタイマーは必ず切っておきます。
- 海水に落したら、直ちに清水で洗い、ありあわせの油につけてすぐ修理にお出してください。腐蝕の程度により修理が可能な場合があります。
- シャッターや巻上げレバーなど、カメラを分解したり注油したりすることはおやめください。具合が悪いときは、保証書を添えてペトリサービスセンターへお送りください。

あなたの愛機は

NO.

Lens NO.

ペトリ V 6 F1.8レンズ付
¥25,000 ケース¥2,400

ペトリ V 6 F1.8ブラック
¥26,000 ケース¥2,400



ペトリ V 6 F1.4レンズ付
¥30,600 ケース¥2,400

ペトリ V 6 F1.4ブラック
¥31,600 ケース¥2,400



ペトリカメラ株式会社

本社営業部	東京都足立区梅田7-25-12 TEL (887) 1111
サービスセンター	東京都千代田区九段南2-4-16 TEL (261) 9981
大阪営業所	大阪市西区北堀江上通1-50 TEL (541) 5096
名古屋営業所	名古屋市中区栄3-11-9 TEL (251) 5691
福岡営業所	福岡市上川端町14-13 TEL (29) 0653
仙台営業所	仙台市錦町2-1-3 TEL (25) 1489
札幌出張所	札幌市南7条西10丁目 TEL (51) 0686
広島サービス ステーション	広島市中町1-7 亀屋ビル TEL (47) 5097